施工説明書

INAX

システムマーベリイナ
マーベリイナカウンター

手洗いスタンダードタイプ

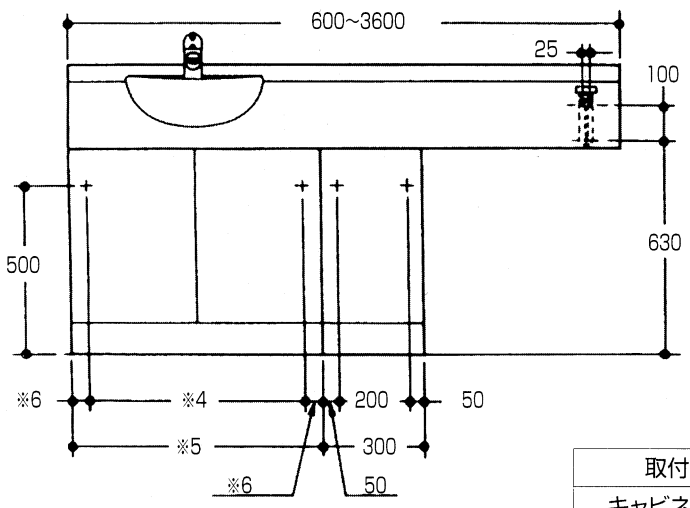
MB-260M
MB-261M

施工される前に

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
●「保証書(取扱説明書裏表紙)」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。
●施工段階での欠陥工事は、施工店様に対して賠償責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようご協力ください。

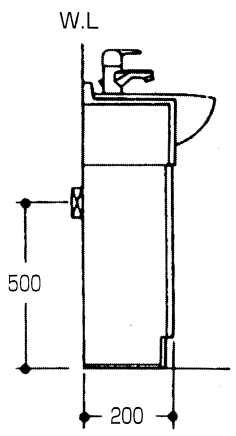
■寸法図

キャビネット及びブラケットをねじ固定する位置に補強桟が設置されているか確認してください。(手洗器を壁固定する場合は、手洗器固定用の補強桟を設置してください。)

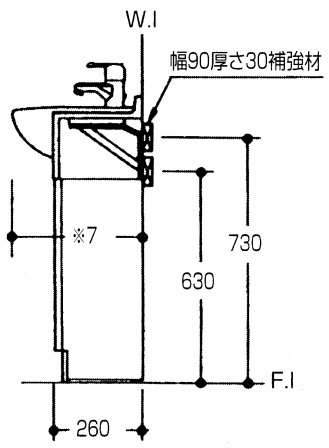


取付方法	※4	500	600
キャビネット寸法	※5	600	750
ビス取付位置	※6	50	75

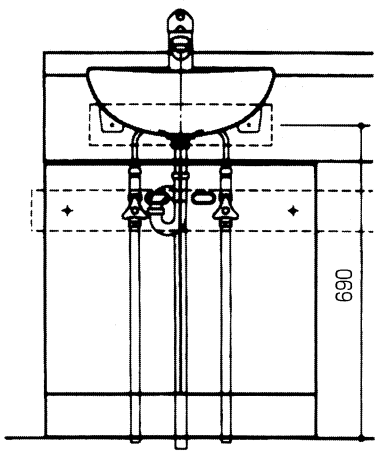
●キャビネット固定の場合

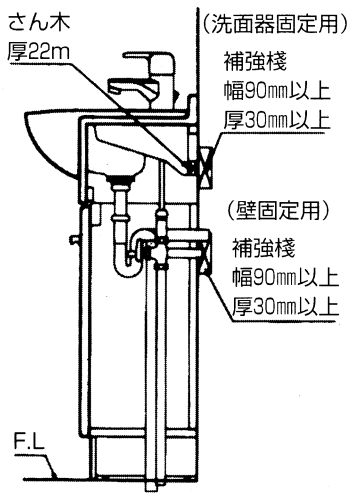


●ブラケット固定の場合



手洗器	L-62	L-60
※7	380	362





※手洗器がカウンターに取り付けられていない場合、手洗器に同梱されている説明書(手洗器の取付け)を参考に取り付けてください。

安全のために必ずお守りください

●ここでは施工に際して守らないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警 告 …「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注 意 …「取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠…… 「注意しなさい！」(上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

🚫…… 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

🚫…… 「分解してはいけません！」

❗…… 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

⚠警 告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※故障したり、思わぬケガをする恐れがあります。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠注 意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は、キャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。
●スライド蝶番（MT－110F）の調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
●湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お 願 い

●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。
●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつきますと跡が残ることがあります。)

株式会社 INAX

本　　社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-301-1701
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎028-637-3379
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-282-3151
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

施 工 前 の 確 認

1.給水、給湯の確認

給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は水栓金具の施工説明書（水栓金具に付属）をご覧ください。

2.配管工事の確認

※給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあることを確認してください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

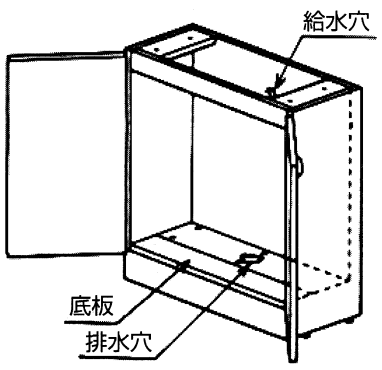
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

※給水、給湯管の取出し位置および仕様は設計用図面集をご参照ください。

3.ベースキャビネットの給水管、排水管の穴あけ

前項の「2.配管工事の確認」にて確認した給水管、排水管の位置から各配管を引き込むために、ベースキャビネット背板部及び底板部に各配管径に合わせてカッターナイフ等で穴をあけます。

※底板は着脱式になっています。ねじをはずして底板を取り出して穴あけをしてください。



4.床面の確認

●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。

●床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。

※キャビネットがぐらついたり、取付精度（納まり）が悪くなる恐れがあります。

お願い

●浴室等の高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。

※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

5.壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕

●キャビネットの取付可能な壁面は右図に示す。

乾式壁３種

湿式壁２種　の以上５種類の壁面のみです。

〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕

●キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。

●補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、キャビネットの固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。

●乾式壁の場合は、補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。

●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めにしてください。

〔壁の不陸について〕

●キャビネット取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。(キャビネットを壁に当て、壁とのすき間が5mm以下であることを確認してください。)

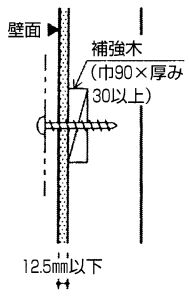
⚠注意

この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は、キャビネットの取付けをしないでください。

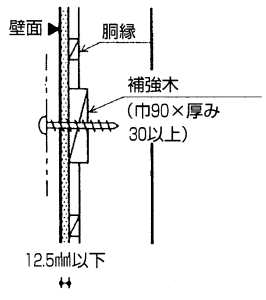
※キャビネットの取付強度が保てず、落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

(1) 乾式壁

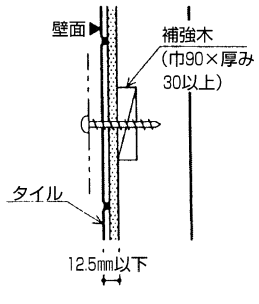
●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け

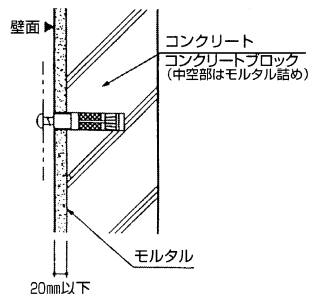


●タイル仕上げ

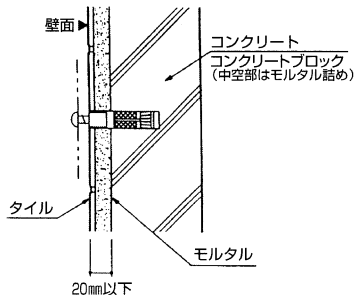


(2) 湿式壁

●モルタル仕上げ



●タイル仕上げ



※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。

お願い

●キャビネット取付壁面の不陸5mm/2mを超える場合は施工しないでください。

※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。

施 工 方 法

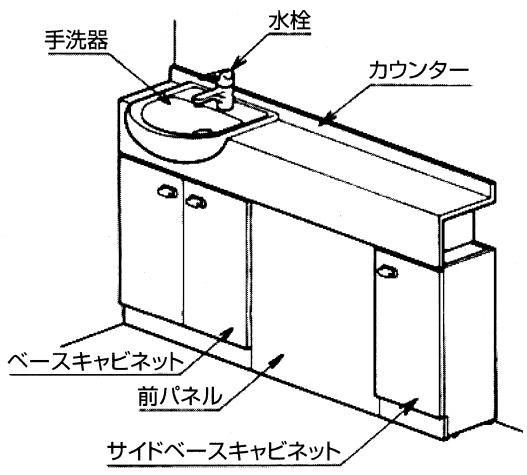
●乾式壁の場合には付属ねじをご使用ください。

●湿寸壁の場合には別途手配のAYボルトKB－4×60T(AY)をご使用ください。カウンター固定用のブラケットはAY仕様のブラケットを別途手配してください。

●システムマーベリイナの場合はキャビネットおよびブラケット対応できます。

●マーベリイナカウンターの場合はブラケット対応のみです。

●取付完了例



1 水栓金具の取付け

水栓金具を手洗器に取り付けます。

2 キャビネットの設置

キャビネットのレイアウトを確認し、仮設置します。左右のキャビネット間に角材などを渡し、水準器で左右のキャビネットが水平になるように、またガタツキがないように各キャビネットのアジャスターを調節します。

●床の水平が出ていない場合は、アジャスターで調節して水準器で確認しながら水平を出してください。

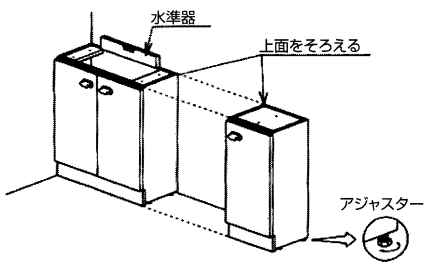
※カウンター立ち上がり部はシステムミラーが設置されますので、必ず水平を確認してください。

ワンポイント

●水平でないとキャビネット、扉のふぞろいが生じます。

●キャビネットの上面が揃うように設置してください。

●端のキャビネットが壁に接する場合は壁側より設置してください。反対の端のキャビネットと壁面との隙間は、サイドフィラー幅寸法となります。



3 キャビネットの壁固定

〔乾式壁の場合〕

(1) 扉を開き、引出しを取り出して付属のねじを用いてキャビネット背板のねじ穴から壁面にねじ固定します。(左右 2 箇所)

〔湿式壁の場合〕

(1) AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。

(2) 壁にφ7.5の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。

※下穴は電動ドリルを使用し正確に開けてください。

(3) AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。

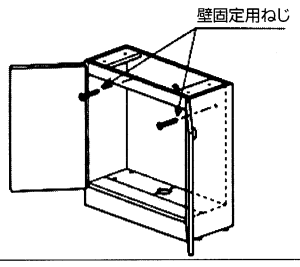
(4) キャビネットを壁面に当て、キャビネット背板のねじ穴から壁面にボルトで固定します。

ワンポイント

●キャビネットを壁に固定する際、扉がじゃまになるときは、扉を外してねじ固定することもできます。

●キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外し方法」をご覧ください。

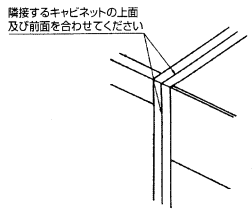
●ねじ固定後は、必ず扉を取り付けてください。



ワンポイント

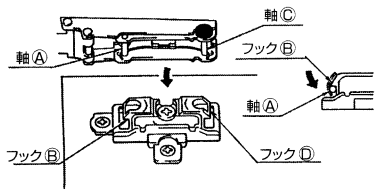
●隣接するキャビネットの上面および前面を合わせてください。

※ずれた場合キャビネット、扉のふぞろいが生じます。

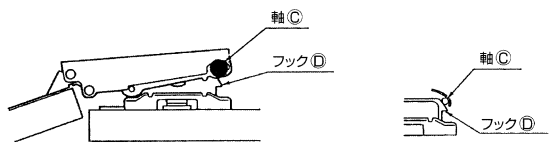


●扉の取付方法

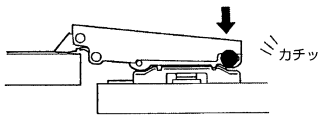
(1) 蝶番の軸Ⓐを、フックⒷに引っ掛けます。



(2) 蝶番の軸Ⓒを、フックⒹに合わせます。



(3) 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



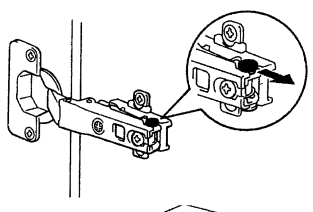
⚠注意

蝶番が確実に結合していることを確認してください。

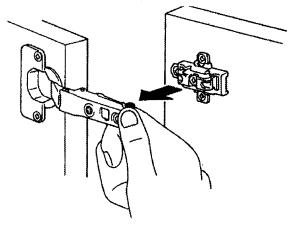
※結合が不十分ですと扉の落下によりケガをする恐れがあります。

●扉の取外し方法

(1) 蝶番の黒いつまみを矢印の向きに引っ張ります。

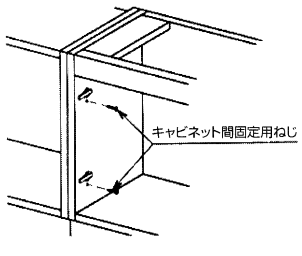


(2) 蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



4 キャビネットの連結

隣接するキャビネットとすき間が生ずる場合は、キャビネット間固定用ねじ(付属部品)で固定します。(蝶番の下方、上下 2 箇所)



5 前パネルの取付け

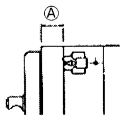
(1) 前パネル受木の取付け

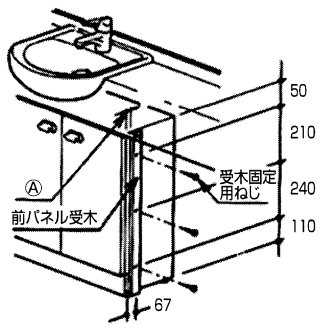
前パネル受木を、左右両側の所定の位置に受木固定用ねじ(付属部品)で固定します。
(上中下の 3 箇所)

※前パネルがけこみ板より前に出ないように取り付けてください。

※Ⓐ寸法が27㎜のとき、前パネルはけこみ板より 5 ㎜ほどひかえた位置になります。

Ⓐ寸法詳細



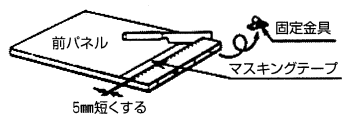


※前パネルの位置は奥に設置してもかまいません。

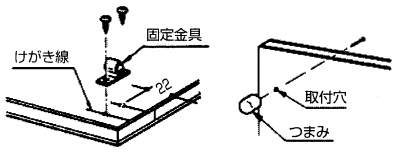
(2) 前パネルのカット

①キャビネット間寸法および壁間寸法より 5 ㎜短くなるように前パネルをのこぎりでカットします。

※カットする際には化粧面が欠けないように化粧面にマスキングテープなどを張ってください。

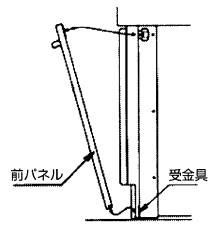


②固定金具をパネルのケガキ線にあわせ再び取り付け、つまみは穴にあわせてねじで取り付けます。



(3) 前パネルの取付け

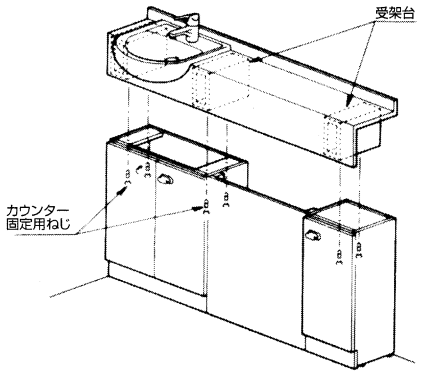
前パネル下部の溝を固定桟の受金具に引っ掛け、図のように取り付けます。



6 カウンターとキャビネットの固定

(1) カウンターを設置し、キャビネットとの納まりおよびカウンター高さおよび水平を確認します。

(1) カウンターをカウンター固定用ねじ(付属部品)で固定します。



※カウンター裏面に受架台を接着していますので、キャビネット内側上部からカウンター固定用ねじで固定してください。

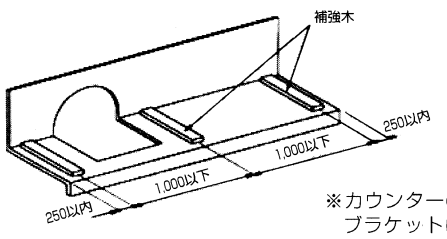
7 ブラケットの取付け (ブラケットを用いる場合)

(1) ブラケットの位置決め

①ブラケット取付間隔

カウンターのそり、たわみ等を防止するため、次の項目を必ず守って取り付けます。
ブラケットの取付位置は、カウンターの要支持箇所に補強木を接着していますので、この位置をブラケットの取付位置とします。

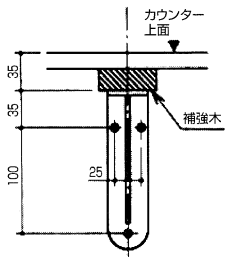
※ブラケット取付間隔は1,000㎜以下になるようにブラケットを必要本数取り付けてください。



※カウンターの両端を支えるブラケットは、カウンターの端面から250㎜以内に取り付けてください。

②ブラケット取付高さ

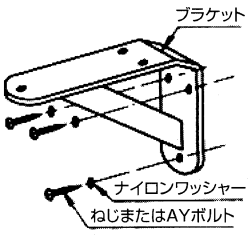
カウンター部の厚み(35㎜)を考慮し、ブラケット上面をあらかじめ下げて芯出しをします。



(2) ブラケットおよびカウンターの取付け

①ブラケットを壁に固定します。

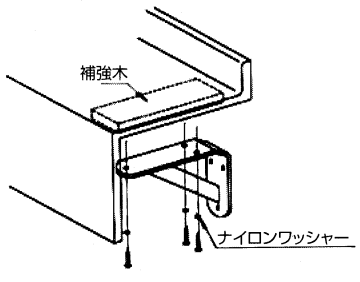
壁にねじ（付属部品）またはAYボルト（付属部品）で強固に固定します。



※AYボルトの場合はAY仕様のブラケットを手配してください。
※ブラケットとねじの間にナイロンワッシャー(付属部品)を入れて固定してください。

②カウンターを固定します。

カウンターをブラケットに載せ、固定用ねじ(付属部品)で固定します。



8 フロントパネルの取付け (フロントパネル使用の場合)

●フロントパネルの取付けはフロントパネルの施工説明書をご覧ください。

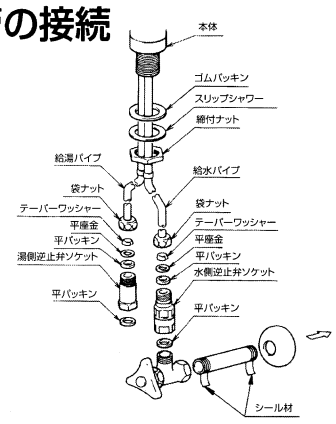
9 マーベリイナシェルフの取付け (マーベリイナシェルフ使用の場合)

(マーベリイナシェルフ使用の場合)

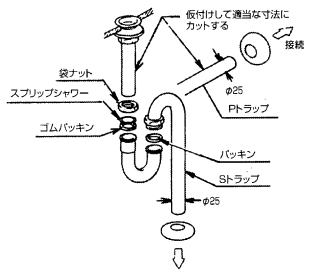
●マーベリイナシェルフの取付けはマーベリイナシェルフの施工説明書をご覧ください。

10 給排水の接続

(1) 給水・給湯管の接続



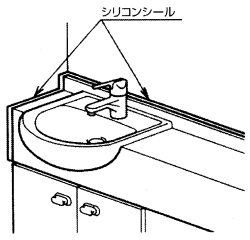
(2) 排水トラップの接続



※各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

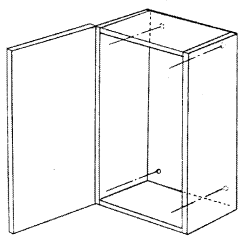
11 カウンター周囲のシール

カウンターが壁に接する面はシール材でシールします。
※接合部にはマスキングテープをしてシーリングしてください。



12 ミドルキャビネットの壁固定

ミドルキャビネットの取付位置を確認し、キャビネット内側より壁固定用ねじ(φ4.0×　㎜付属部品)で壁に固定します。
(左右および上下　4箇所)



施工後の確認

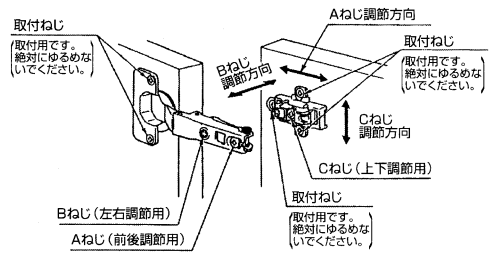
■キャビネット本体の確認

(1) キャビネットの取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認します。
(2) キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットのすき間がないことを確認します。
(3) ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は、必ずねじ位置をかえて取付け直します。
(4) 扉のふぞろいがある場合は、後述の「扉の調節(スライド蝶番MT－110F)」で調節します。

■吐水量、排水量の確認

(1) 洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし、吐水させて洗面所から水があふれないよう（オーバーフロー能力の範囲以内）水側、湯側の止水栓の開閉をして流量の調節をします。
(2) 排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認します。

扉の調節(スライド蝶番MT－110F)



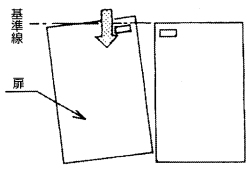
⚠注意

調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

各ねじの調整量
Aねじ……前方向2.5㎜、後方向1.5㎜
Bねじ……右へ回す→手前へ4㎜、左へ回す→後方へ1㎜
Cねじ……上方向1.5㎜、下方向1.5㎜

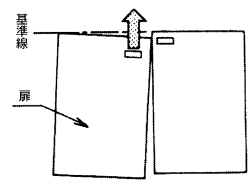
●扉の先端が上がっているとき

①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



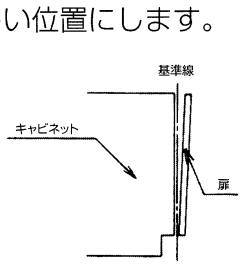
●扉の先端が下がっているとき

①扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



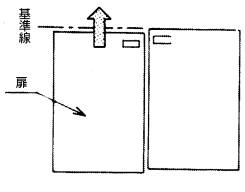
●扉と側板のすき間が上下異なるとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



●扉の位置が上下異なるとき

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



ワンポイント

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
● 2 枚扉(両開き)の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。